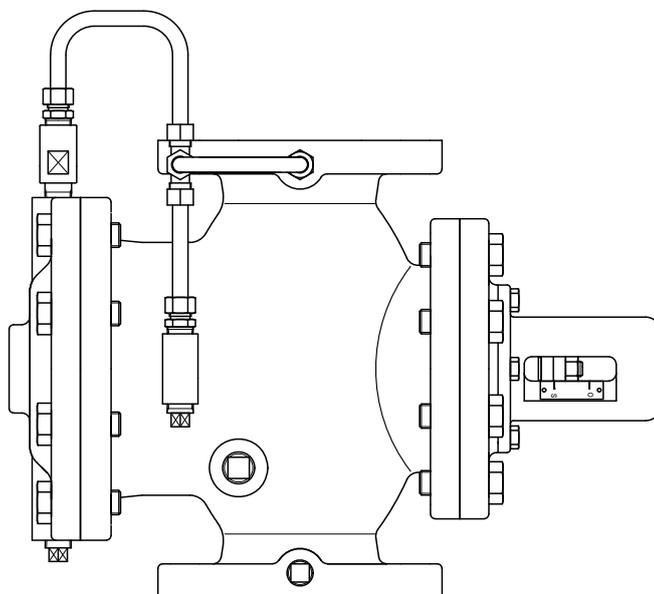


MVAJ001-80型
MVAJ001-100型
MVAJ001-150型
MVAJ001-200型
一斉開放弁
(加圧開放式、縦型)
ガイドブック



NOHMI

- ・ガイドブックをよくお読みのうえ、安全にお使いください
- ・いつでも使用できるように大切に保管してください

目 次

○安全上の注意（ご使用前に読んで頂きたいこと）	2
1. 概 要	4
2. 構造および作動説明	
(1) 構造	4
(2) 作動説明	5
3. 工事	
(1) 据付前準備	6
(2) 据付	6
(3) 水張り作業	6
(4) 作動試験	7
4. 保守点検	7
5. 運用	
(1) 通常時（監視時）	7
(2) 復旧時	7
6. 耐用年数と定期交換推奨部品	
(1) 耐用年数	8
(2) 定期交換推奨部品	8
(3) 本体のオーバーホール	9
(4) オリフィスの分解清掃	11
7. 事故・トラブルとその処置	12
8. 仕様	12
9. 特性	13

○支社・営業所連絡先一覧

安全上の注意

- ・ご使用前にこの「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・ここに示した注意事項は設備を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- ・危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」の2つに区分しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が重傷や障害を負うかまたは防災機能の一部に重大な悪影響を及ぼすことが想定される場合。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負うかまたは防災機能に悪影響を及ぼす可能性がある場合、および、防災機能を長期にわたって有効に活用する上でぜひ守ってほしい事項。

- ・お守りいただく内容を次の警告表示で表示しています。

	危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
	禁止の行為を告げるものです。
	行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

 警告	
一般的な注意事項	
	機器一式および部品の交換は、耐用年数および交換推奨時期を目安に交換する 経年劣化により機器が正常に作動しないことがあります。
	泡消火薬剤（泡消火薬剤水溶液）が皮膚に付着したり、目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い流す 泡消火薬剤が付着した状態で放置すると、人体に影響することがあります。
	機器を無断で改造しない 機器の破損や機器が正常に作動しないことがあります。
	機器に無理な外力を掛けない 本機器（継手類含む）を足場代わりにしたり、ぶつけたり、落下させるような無理な負荷を与えないください。故障の原因となります。
工事に関する注意事項	
	機器および配管は保温などの適切な措置を行う 機器および配管内の水などが凍結すると、機器が破損し所定の性能が得られなくなることがあります。
	操作配管にストレーナを入れる 手動起動弁および遠隔起動弁の一次側にストレーナを入れてください。ゴミなどによりオリフィスが目詰まりすると、所定の性能が得られなくなることがあります。

⚠ 注意

一般的な注意事項

⚠	機器を分解した場合は、正常に機器を組み立てる 機器が正常に組み立てられていない場合、機器が正常に作動しないなどの故障の原因となります。
	機器に異常がある場合は、速やかに調査する 速やかに原因を調査し、必要に応じて修理してください。機器が正常に作動しないことがあります。
	工事および点検は有資格者が実施する
	復旧作業は、消防機関などによる消火および安全確認後に行う 消火および安全確認前に復旧作業を行うと危険です。
	消火用水は、上水道水を使用する 地下水など腐食性のある水を使用すると、漏水したり故障の原因となります。
	機器にウォーターハンマー等の水撃が加わらないようにする 水撃が加わると機器や配管が損傷したり、機器が正常に作動しないなどの故障の原因となります。
⊘	使用圧力範囲外では使用しない 機器が正常に作動しないなどの故障の原因となります。
	機器に悪影響を及ぼす薬品・溶剤を使用しない ゴム部品を使用していますので、ゴム製品に悪影響を及ぼすような薬品・溶剤は使用しないでください。機器が正常に作動しない場合や故障の原因となります。
⚠	修理およびオーバーホールが必要な場合はメーカーに連絡する 弊社にご連絡ください。
	機器分解時は水などの噴き出しに注意する 機器を分解する際は、水などが噴き出す場合がありますので注意してください。 また、必要に応じて周辺を養生してください。

工事に関する注意事項

⚠	配管内部や貯水槽に異物が入らないように注意する 機器内部のシート部に異物が噛み込むと弁座漏れの原因となります。
	配管内をフラッシングする 機器内部のシート部に異物が噛み込むと弁座漏れの原因となります。
	縦型で使用する 本機器は縦型専用です。バルブ本体側面に鑄出しされている矢印が下から上方向（「↑」）となるように据え付けてください。据付方向を誤ると正常に機能しません。
	環境が悪い場所には設置や保管をしない 以下の場所に設置や保管をした場合、正常に作動しないことや機器の劣化が早まる場合があります。 <ul style="list-style-type: none">・水などが掛かったり、粉塵が発生する場所・腐食性ガスや湿気が多く存在する場所・使用温度範囲（0～40℃【凍結なきこと】）外の場所・振動が多い場所
⊘	配管の耐圧試験時にプランジャーポンプを使用する場合は締め切り運転をしない プランジャーポンプを使用する場合は、締め切り（逃がし量が0）運転をしないでください。 配管、機器などの最高使用圧力を超過し、設備が破損することがあります。
⚠	耐圧試験時は試験圧力を超えない 本機器の耐圧試験圧力は2.0MPaです。耐圧試験時は2.0MPaを超えないようにしてください。機器が破損することがあります。

1. 概要

本機器は、開放型スプリンクラー設備、放水型ヘッド等スプリンクラー設備、泡消火設備などで用いるもので、手動起動弁または遠隔起動弁などの操作により弁体を開放する縦型専用の加圧開放式の一斉開放弁です。

本機器は消防法の規定に基づく自治省令「一斉開放弁の技術上の規格を定める省令」による型式試験に合格した製品です。

2. 構造および作動説明

(1) 構造

本機器は、本体、オリフィス、銅管、銅管継手などにより、構成されています。

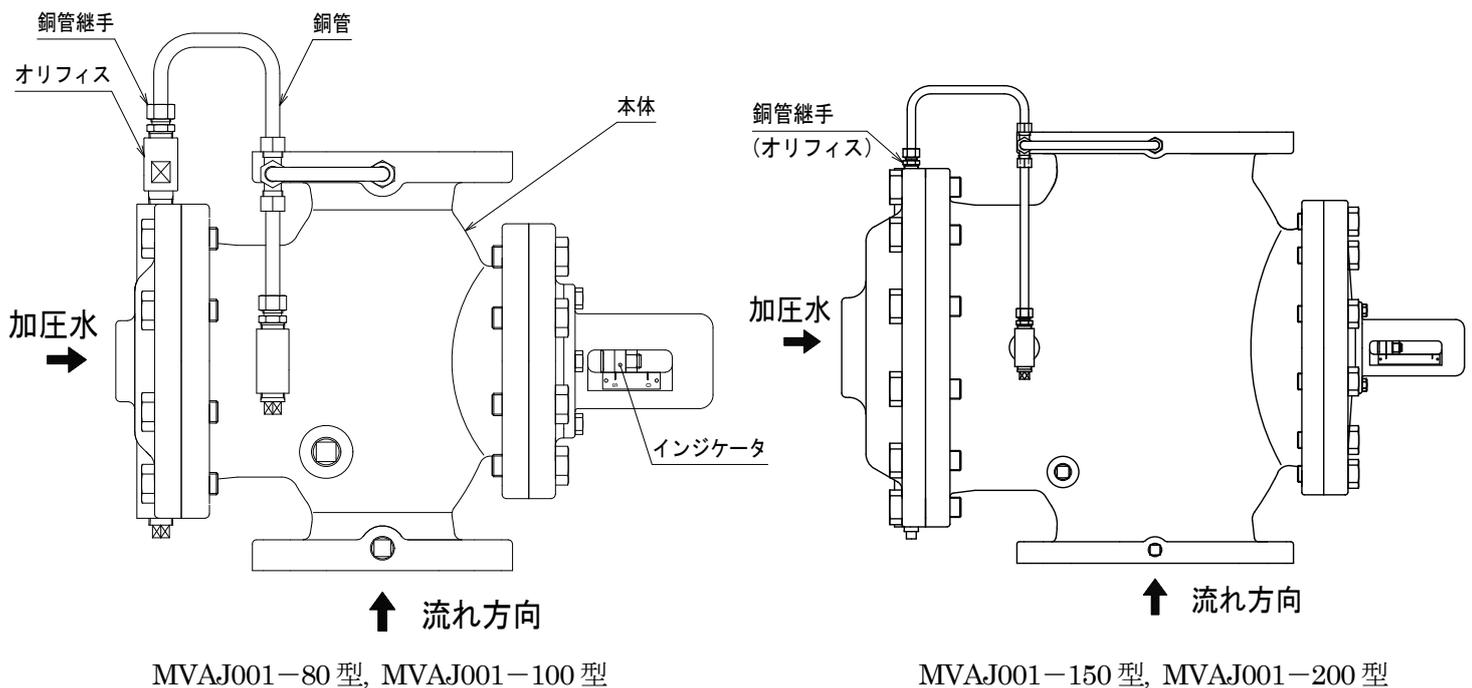


図1. 機器外観

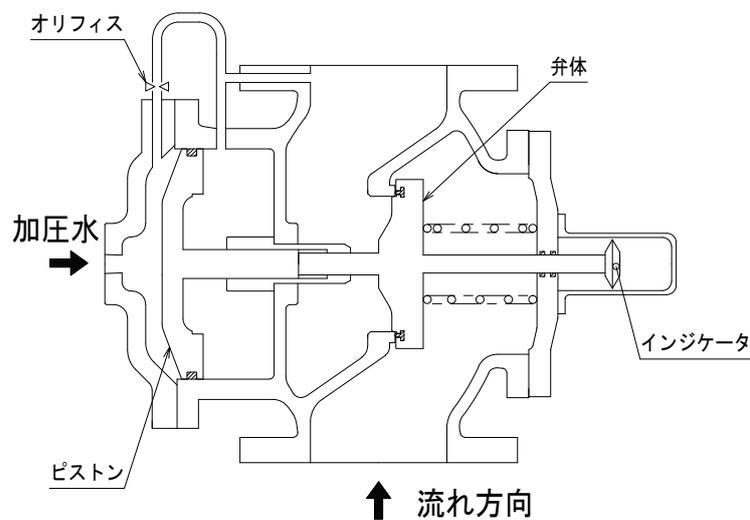


図2. 装置構成図 (通常時)

(2) 作動説明

①通常時（監視時）

通常時は、弁体に1次側圧力とスプリング力が加わっているため、弁体は閉止しています。

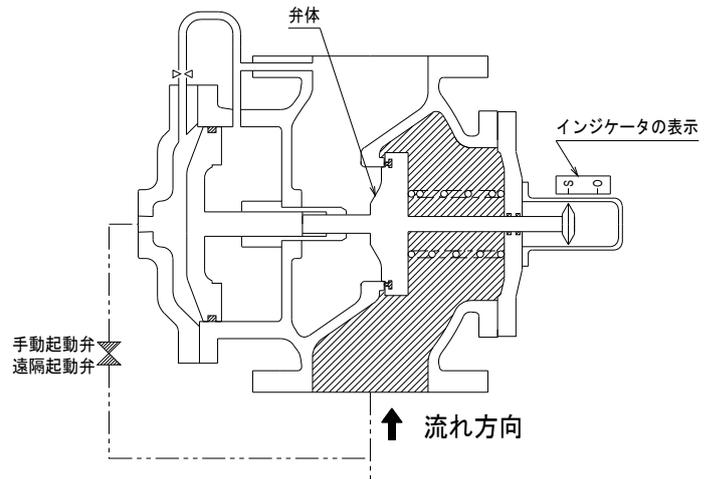


図3. 通常時の状態図

②火災時（作動時）

手動起動弁または遠隔起動弁の開放操作により、加圧水がピストン室に加わると弁体が開放し流水します。この時、ピストン室から排出される水がオリフィスを通することで圧力損失が生じてピストン室の圧力は中間室の圧力よりも高く保たれます。このため、中間室よりもピストン室の圧力が常に高く保たれ、弁体は開放状態を維持します。

手動起動弁または遠隔起動弁が開放状態でも、止水弁を閉止するなどして流水が止まると弁体はゆっくり閉止しますが、再度、流水させると弁体は開放します。

インジケータが開放側（全開：0）に移動しますが、流量により弁体の開度が変化するため、インジケータは（全開：0）の部分まで開放しない場合があります。

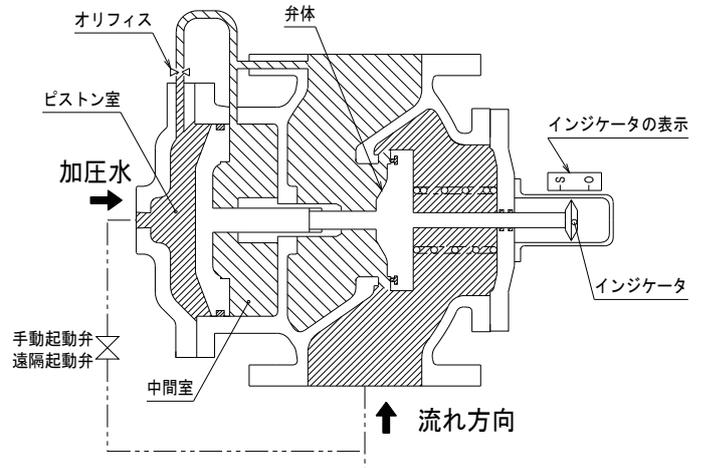


図4. 作動時の状態図

③復旧時（放水停止時）

手動起動弁または遠隔起動弁の閉止操作によりピストン室への加圧が止まり、ピストン室の圧力と中間室の圧力が同圧になり一次側の圧力とスプリングの力で弁体が閉止します。

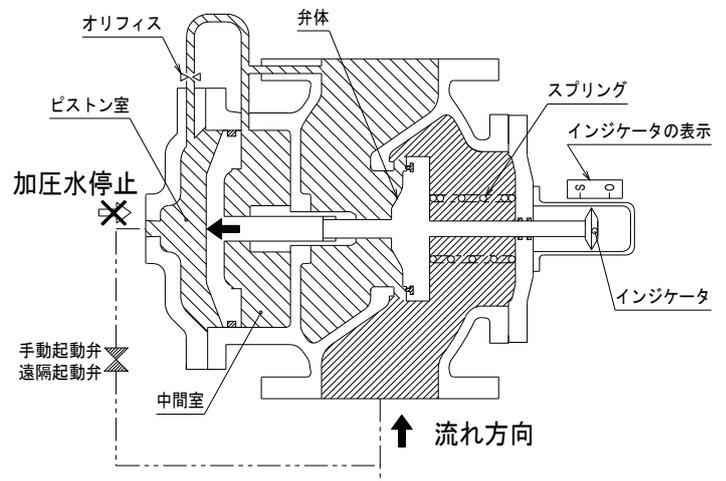
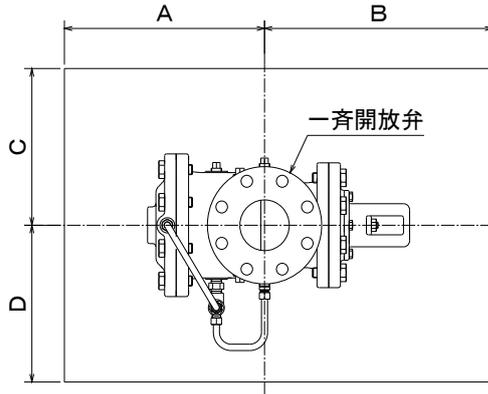


図5. 放水停止時の状態図

3. 工事

(1) 据付前準備

- ①設置後のメンテナンスを考慮し、一斉開放弁を据え付ける前に図6で示す寸法以上のメンテナンススペースを確保してください。なお、下記寸法は手動起動弁や遠隔起動弁等の一斉開放弁周りの配管類のメンテナンスを考慮した寸法ではありません。必要に応じて配管類のメンテナンススペースを確保してください。
- ②一斉開放弁を組み付ける前に、現場配管内に異物がないことを確認してください。
- ③一斉開放弁の内部に異物がないことを確認してください。



単位 (mm)

	A	B	C	D
80 型	700	1100	400	500
100 型	750	1150	450	550
150 型	850	1300	500	600
200 型	900	1400	550	650

図6. メンテナンススペース

(2) 据付

- ①取付ボルト・ナット (16セット、MVAJ001-200型は24セット) を使用してください。

※推奨ボルト： MVAJ001-80,100型 M16×L65 (JIS 10Kのフランジに接続する場合)

MVAJ001-150,200型 M20×L75 (JIS 10Kのフランジに接続する場合)

- ②現場配管と一斉開放弁を組み付けてください。

(3) 水張り作業 (図7参照)

一斉開放弁一次側配管と手動起動弁周りの配管の水張り作業を実施します。

順序	作業内容	弁の開閉状態 (○：開放状態 ×：閉止状態) 網掛け部は前項目からの操作箇所を示します					
		一次側止水弁	試験弁	制水弁	遠隔起動弁	手動起動弁	二次側止水弁
1	各弁を右の状態にする	×	×	○	×	×	×
2	消火ポンプを起動し、一次側止水弁を微小開放する	○ 微小	×	○	×	×	×
3	試験弁を開放する	○ 微小	○	○	×	×	×
4	手動起動弁をゆっくり開放し、弁体を開放する	○ 微小	○	○	×	○	×
5	空気の流れる音が止まったら、手動起動弁を閉止し、弁体を閉止する	○ 微小	○	○	×	×	×
6	引き続き、(4)の作動試験を実施する。	—					

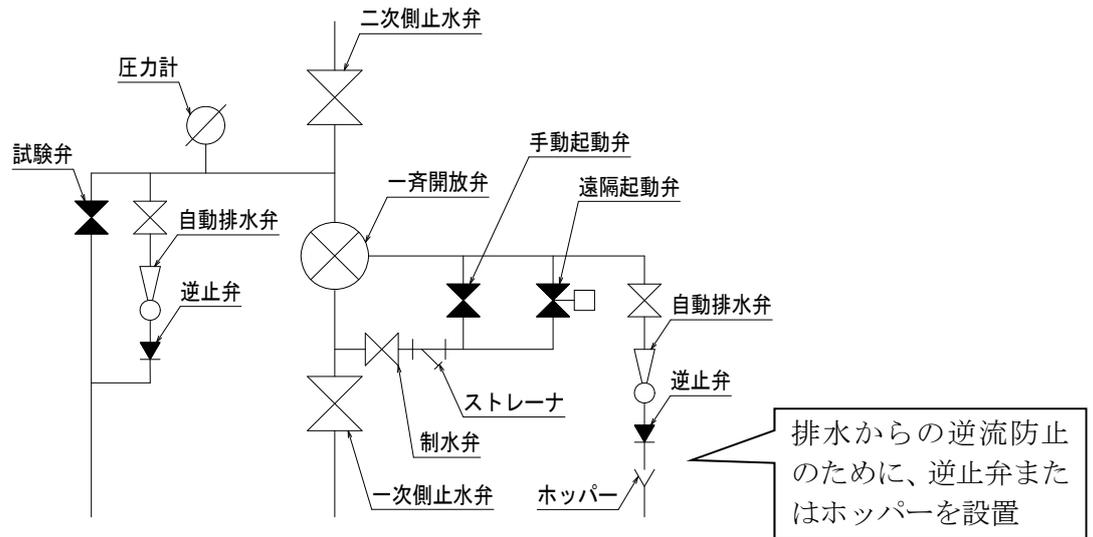


図7. 一斉開放弁周りの配管施工例（通常時（監視時））

(4) 作動試験（図7参照）

順序	作業内容	弁の開閉状態（○：開放状態 ×：閉止状態） 網掛け部は前項目からの操作箇所を示します					
		一次側止水弁	試験弁	制水弁	遠隔起動弁	手動起動弁	二次側止水弁
1	各弁を右の状態にする	○	○	○	×	×	×
2	手動起動弁または遠隔起動弁を開放し、弁体を開放する	○	○	○	○	○	×
3	弁体が開放したら、手動起動弁または遠隔起動弁を閉止し、弁体を閉止する	○	○	○	×	×	×
4	一次側止水弁と試験弁を閉止し、消火ポンプを停止する	×	×	○	×	×	×
5	試験完了後、各バルブを通常状態に戻す	○	×	○	×	×	○

4. 保守点検

機能保持のため、保守点検（機器点検、総合点検）は関連法規に従って定期的実施してください。

5. 運用

(1) 通常時（監視時）

図7を参考に一斉開放弁周りの機器類の開閉状態が正常であることを確認してください。

(2) 復旧時

- ①火災が完全に鎮火したことを確認後、手動起動弁、遠隔起動弁、および一次側止水弁を閉止して放水を停止してください。
- ②消火ポンプを停止してください。
- ③試験弁などを開放して二次側配管内の残水を排水してください。

6. 耐用年数と定期交換推奨部品

(1) 耐用年数

本機器の耐用年数は、設置後約 20 年です。

なお、耐用年数は設置環境、使用状況などの影響を受けるため、あくまで目安であり、その期間を保証するものではありません。また、風雨、塩分、腐食性ガスなどの影響を受ける場所、その他の環境の厳しい場所に設置した場合には、大幅に耐用年数が短くなることがあります。保守点検時に不具合が発見された場合は、その都度適切な処置（機器交換、清掃など）を行ってください。

(2) 定期交換推奨部品

対象構成機器	推奨オーバーホール（交換）時期	定期交換推奨部品
本体	設置後 約 10 年 ※カバー用 O リング A、ボンネット用 O リング E は分解の都度交換してください。	【パッキン類】 ・ 弁体組品 ・ O リング（材質 NBR、下記参照）

	弁体組品	O リング※				
		A	B	C	D	E
MVAJ001-80	専用品	AN6230-36 (1 個)	P130 (1 個)	P20 (1 個)	G125 (1 個)	P16 (2 個)
MVAJ001-100	専用品	AN6230-38 (1 個)	P145 (1 個)	P22A (1 個)	G150 (1 個)	P16 (2 個)
MVAJ001-150	専用品	G270 (1 個)	P240 (1 個)	P32 (1 個)	G210 (1 個)	P20 (2 個)
MVAJ001-200	専用品	AN6227-81 (1 個)	P285 (1 個)	P38 (2 個)	G260 (1 個)	P30 (2 個)

※各 O リングの使用箇所は、6.(3)本体のオーバーホール「図 8.本体の分解図」(10 頁)を参照。

(3) 本体のオーバーホール

①事前に以下の物を準備してください。

No.	名称	仕様	数量	備考
1	弁体組品	専用品	1	ジスクシートリングを組み込み済み
2	Oリング	6.(2)参照	—	
3	メガネレンチまたはスパナレンチ	(MVAJ001-80,100 型の場合) 対辺 24mm(M16 六角ボルト用) (MVAJ001-150 型の場合) 対辺 30mm(M20 六角ボルト用) (MVAJ001-200 型の場合) 対辺 30mm(M20 六角ボルト用) 対辺 36mm(M24 六角ボルト用)	—	カバー、ボンネット取付ボルト用
4	モンキーレンチ	150mm (対辺 0~20mm 用)	2	銅管継手、ナット用 キャップ取付ボルト用 オリフィス分解用
5	長ボルト	(MVAJ001-80,100 型の場合) M16、長さ 90mm (MVAJ001-150,200 型の場合) M20、長さ 90mm	2	ボンネット分解用
6	板材	幅 12mm、厚さ 0.8mm 材質：鉄など	1	オリフィス分解用 (オリフィス (組品) 交換の場合、又は MVAJ001-150,200 型の場合は不要)
7	棒	(MVAJ001-80,100 型の場合) 約φ15mm、長さ 200mm 以上 (MVAJ001-150,200 型の場合) 約φ15mm、長さ 300mm 以上	1	ピストン取り出し用
8	シールテープ	—	適量	オリフィス・銅管継手用
9	養生シート・ウェス ビニール袋・バケツ	—	適量	床などの汚れ防止・清掃用
10	シリコングリス	一般汎用品	適量	Oリング塗布用
11	針金	φ1mm 程度	適量	Oリング取り外し用

②必要に応じて、火災受信機および各制御盤から警報が出ないように措置を施してください。

③分解の際に残水が出ますので、必要に応じて一斉開放弁周りを養生してください。

④一次側止水弁と二次側止水弁を閉止し、試験弁を開放してください。

⑤弁体開放状態にするため、一次側止水弁を微小開放後、手動起動弁または遠隔起動弁を開放し、弁体を開放してください。(消火ポンプが起動した場合は、停止してください。)

⑥手動起動弁または遠隔起動弁、一次側止水弁を閉止し、試験弁を開放して二次側の水を排水してください。

【本体の分解】（図8参照）

- ⑦カバーに接続されている銅管の銅管継手（2ヶ所）のナットを外し、銅管を取り外してください。
- ⑧キャップを外した後、ナットとインジェータを外してください。
- ⑨ボンネットを外してください。ボンネットを外す際にスプリングの力でボンネットが押し出されますので、最初に上側のボルト2本を外して代わりに長ボルト（約L=90mm）を入れてから、残りのボルトを取り外してください。この時、本体から残水が出ますので注意してください。
- ⑩ボンネットを取り外した後、弁体組品とスプリングを取り外してください。
- ⑪カバーを外した後、ピストンを取り出してください。なお、ピストンを取り出しにくい場合には、ボンネット側から棒などを用いてピストンを押し出して取り出してください。この時、本体から残水が出ますので注意してください。
- ⑫内部を清掃後、各Oリングと弁体組品を新品に交換し元通りに組み立ててください。
※新しいOリングにグリスを塗布して組み立ててください。
※ボンネットとカバーを取り付ける際には、所定の位置からOリングがはみ出さないようにOリングを固定し、Oリングを潰さないように組み立ててください。

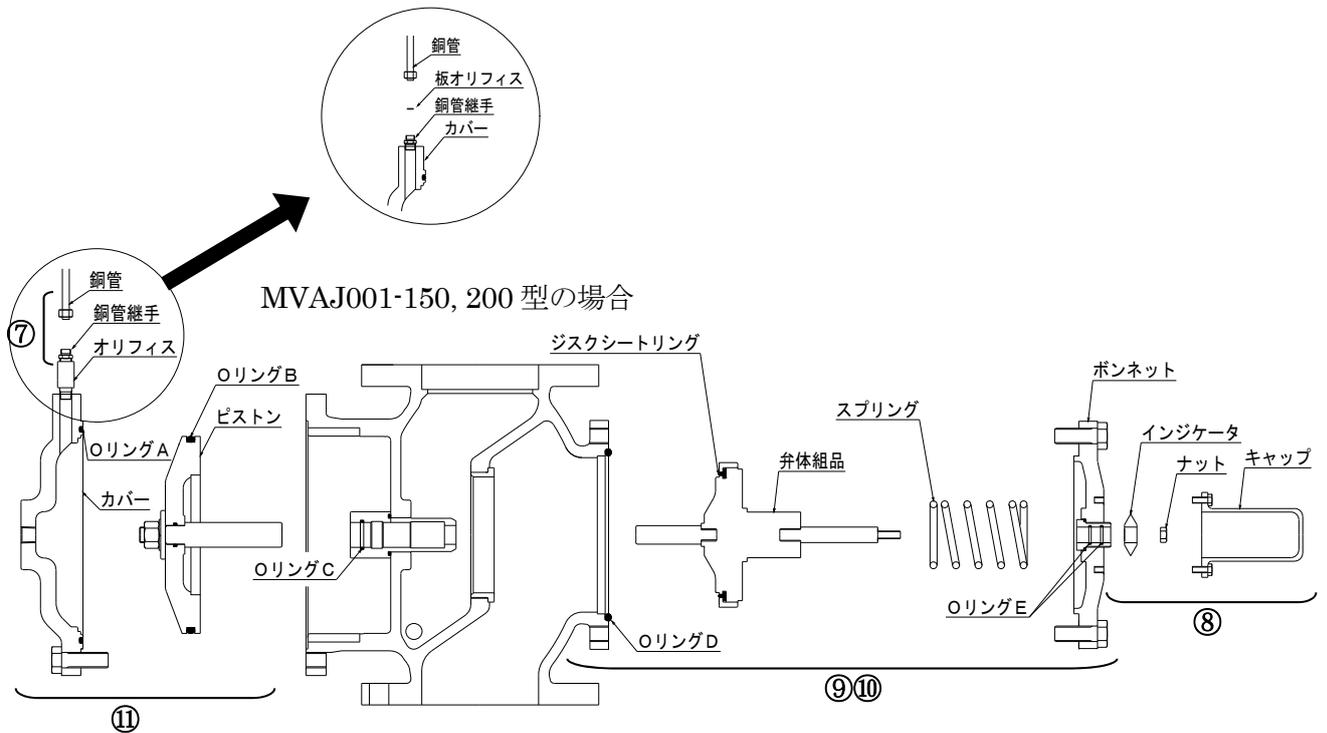


図8. 本体の分解図

(4) オリフィスの分解清掃

弁体が閉止しないなどの不具合が見られる場合には、必要に応じてオリフィスを分解清掃してください。

【オリフィスの取出し】（図9参照）

- ①カバーに接続されている銅管の銅管継手(2ヶ所)のナットを外し、銅管を取り外してください。
- ②オリフィスから銅管継手を外してください。
- ③カバーからオリフィスを外してください。

※オリフィスと銅管継手のネジ部に残っているシールテープをきれいに清掃してください。シールテープのゴミがオリフィス内に入ると目詰まりの原因になります。

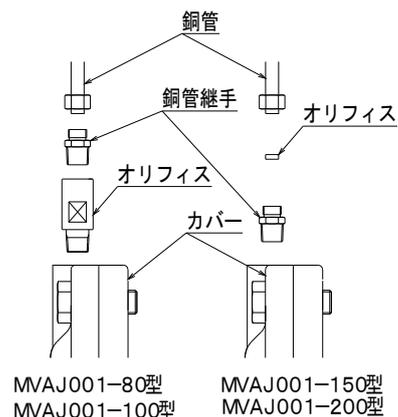


図9. オリフィスの取出し

【オリフィスの交換・分解清掃】（図10,11参照）

- ・MVAJ001-80,100型でオリフィス（組品）の交換の場合は、オリフィスを取出した後新品に交換し、下記④⑤の作業を実施してください。
 - ・MVAJ001-80,100型でオリフィスを分解清掃する場合は、下記①～⑤の作業を引き続き実施してください。
 - ・MVAJ001-150,200型の場合は、銅管継手の内部の板オリフィスを取り出し清掃してください。
- ①板材（幅12mm、厚さ0.8mm）を部品Aの溝部に差し込み、ネジを緩めて取り出してください。
 - ②部品B,Cを取り出し、内部を清掃してください。この時、内部部品に変形や傷等が見られる場合には、オリフィス全体を交換してください。

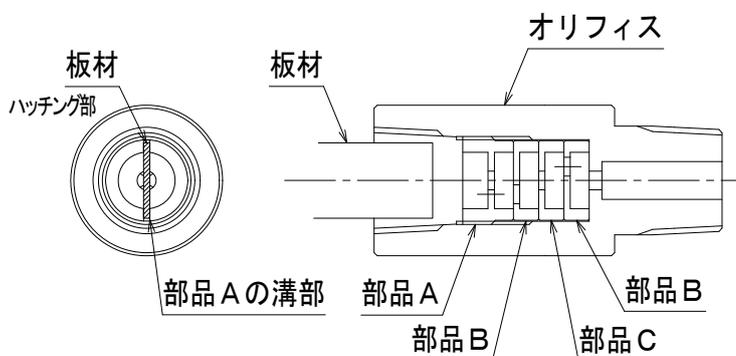


図10. オリフィスの組立図

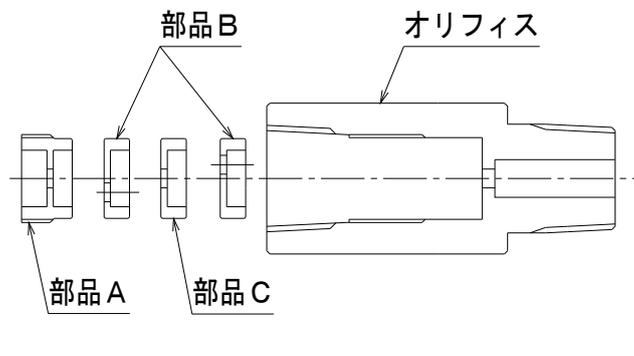


図11. オリフィスの分解図

- ③分解清掃後、部品A,B,Cの取付順番、取付方向や枚数を間違えないように注意して組み立ててください。

間違えると開放動作や閉止動作に影響します。

※最後に部品Aをねじ込みますがシールテープは不要です。

※部品Aが破損しないように、締め込みトルクは0.2~0.3 (N・m) としてください。

※部品B,Cは小穴が部品A側に来るように取り付けてください。

- ・部品A：中心に穴が開き、外側にネジがあるもの。
- ・部品B：中心からずれた位置に穴が開いているもの。（2枚）
- ・部品C：中心位置に穴が開いているもの。

- ④オリフィスと銅管継手のネジ部にシールテープを巻き、各部品を元通りに組み立ててください。

- ⑤作業終了後、3.(3)の水張り作業と3.(4)の作動試験を実施してください。

7. 事故・トラブルとその処置

機器の異常を発見した場合には次表を参考に処置してください。

なお、表中の考えられる原因は代表例であり、考えられるすべての原因を示すものではありません。

現象	考えられる原因	処置・対策
弁体が開放しない	起動配管の目詰まりや凍結により、ピストン室に加圧水が流れていない	ストレーナ、手動起動弁、遠隔起動弁などの起動配管に目詰まりや凍結がないか確認してください
	中間室の凍結	凍結のないことを確認してください
	オリフィスの内部部品が入っていない	オリフィスの内部部品を確認してください
監視時に一次側の圧力が低下する	フランジ接続部からの漏水	漏水箇所を修理してください
	弁体の異物噛み込みによる漏水	異物を取り除いてください※1
弁体が閉止しない	オリフィスの目詰まり	オリフィスを分解して清掃してください (6.(4)オリフィスの分解清掃(11頁)を参照)
	弁体の異物噛み込み	異物を取り除いてください※1
規定の流量が流れない	起動配管の目詰まりにより、ピストン室に所定の圧力が加わっていない	ストレーナ、手動起動弁、遠隔起動弁などの起動配管に目詰まりがないか確認してください

※1:本体を分解する場合は、カバー用Oリングとボンネット用Oリングを必ず新品に交換してください。

【再使用禁止】 (Oリングの詳細は6.(2)定期交換推奨部品参照)

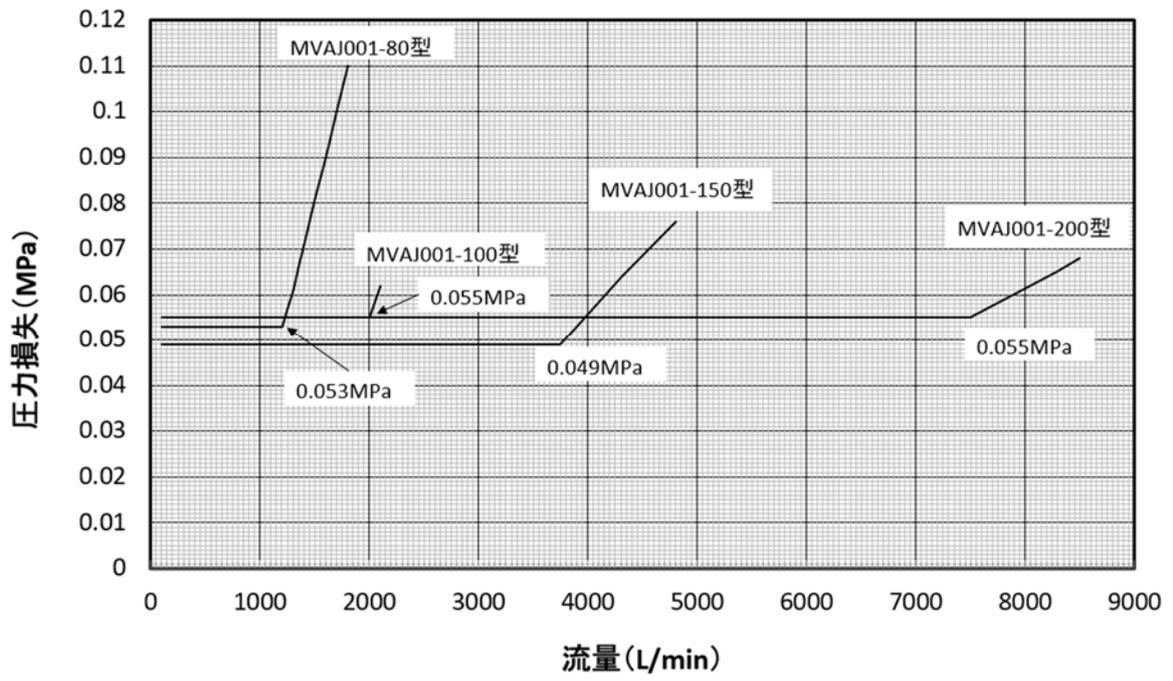
※2:流量により弁体の開度が変わりますので、設備の流量によってはインジケータが「O」部分まで開放しない場合があります。

8. 仕様

型式名称	MVAJ001-80	MVAJ001-100	MVAJ001-150	MVAJ001-200
型式番号	開第30～1号	開第30～3号	開第30～2号	開第30～4号
作動方式	加圧開放式			
呼び径	80A	100A	150A	200A
使用圧力範囲	0.3～1.4 MPa			
最大流量	1800L/min	2100L/min	4800L/min	8500L/min
耐圧試験圧力	2.0 MPa			
使用環境温度範囲	0～40℃(凍結なきこと)			
接続フランジ	JIS 10K 80A FF	JIS 10K 100A FF	JIS 10K 150A FF	JIS 10K 200A FF
取付方向	縦			
塗装色	赤錆色			
質量	約48kg	約63kg	約150kg	約265kg

9. 特性

流量—压力损失特性图



支社・営業所連絡先一覧

能美防災株式会社

本社 〒102-8277 東京都千代田区九段南4丁目7番3号

TEL:(03)3265-0211

エンジニアリング本部	〒163-0455	東京都新宿区西新宿2丁目1番1号(新宿三井ビルディング55階)	(03)3343-1815
北海道支社	〒001-0013	札幌市北区北13条西1丁目2番21号	(011)746-6911
東北支社	〒980-0014	仙台市青葉区本町1丁目2番20号(KDX仙台ビル8階)	(022)221-2695
新潟支社	〒950-0088	新潟市中央区万代3丁目6番8号	(025)243-8121
丸の内支社	〒100-0006	東京都千代田区有楽町1丁目7番1号(有楽町電気ビル南館13階)	(03)3213-1781
茨城支社	〒310-0845	水戸市吉沢町307番1号	(029)239-5280
千葉支社	〒260-0821	千葉市中央区若草1丁目2番12号	(043)266-0303
北関東支社	〒331-0802	さいたま市北区本郷町272	(048)669-2255
西関東支社	〒192-0082	八王子市東町2丁目12番(京王八王子東町ビル3階)	(042)643-1520
横浜支社	〒220-6209	横浜市西区みなとみらい2丁目3番5号(クィーンズタワーC9階)	(045)682-4700
長野支社	〒380-0935	長野市中御所4丁目8番22号(裾花ハイツ1階)	(026)227-5521
静岡支社	〒420-0813	静岡県静岡市葵区長沼二丁目16番10号	(054)340-0013
中部支社	〒450-0003	名古屋市中村区名駅南一丁目24番30号(名古屋三井ビル本館3階)	(052)589-3241
北陸支社	〒920-0806	金沢市神宮寺2丁目10番5号	(076)252-6211
関西支社	〒564-0052	吹田市広芝町7番13号	(06)6330-8661
京都支社	〒601-8468	京都市南区唐橋西平垣町7番地2	(075)694-1192
中国支社	〒732-0044	広島市東区矢賀新町4丁目5番26号	(082)510-1125
岡山支社	〒700-0973	岡山市北区下中野328番113号	(086)244-4222
九州支社	〒812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目9番11号大成博多駅ビル7階	(092)712-1560
旭川営業所	〒070-0039	旭川市9条通13丁目24番地270	(0166)25-5600
青森営業所	〒030-0113	青森市第二問屋町1丁目7番2号	(017)729-0532
盛岡営業所	〒020-0133	盛岡市青山2丁目20番5号	(019)645-0552
秋田営業所	〒011-0901	秋田市寺内字イサノ98番1号	(018)862-5086
郡山営業所	〒963-8843	郡山市字川向128番地	(024)947-1194
福島営業所	〒960-8071	福島市東中央3丁目45番1号	(024)528-4195
羽田営業所	〒144-0041	東京都大田区羽田空港3丁目3番2号私書箱3号(第1旅客ターミナルビル1階)	(03)5757-9393
渋谷営業所	〒150-0036	東京都渋谷区南平台町2番17号(日交渋谷南平台ビル2階)	(03)3461-1051
杉並営業所	〒168-0074	東京都杉並区上高井戸1丁目13番1号(ルート上高井戸ビル3階)	(03)3306-0451
城東営業所	〒130-0012	東京都墨田区太平2丁目8番11号齊征錦糸町ビル8階	(03)3626-2461
五反田営業所	〒141-0031	東京都品川区西五反田1丁目29番1号(コイズミビル3F)	(03)3779-9737
土浦営業所	〒300-0037	土浦市桜町4丁目3番18号(土浦ブリックビル2階)	(029)822-3851
宇都宮営業所	〒321-0945	宇都宮市宿郷2丁目7番16号(メゾン千秀1階)	(028)637-4317
群馬営業所	〒370-0046	高崎市江木町1716番地	(027)328-1567
沼津営業所	〒410-0311	沼津市原町二丁目3-20	(055)955-5227
浜松営業所	〒430-0901	浜松市中区曳馬6丁目23番16号(モリショウ第1ビル301号)	(053)473-3422
三重営業所	〒514-0007	津市大谷町181番地(津駅西ビル)	(059)226-9860
富山営業所	〒930-0845	富山市綾田町1丁目7番76号	(076)444-1450
福井営業所	〒910-0021	福井市乾徳3丁目8番25号	(0776)21-0056
岐阜営業所	〒500-8381	岐阜県岐阜市市橋4丁目6番7号	(058)201-3771
神戸営業所	〒650-0031	神戸市中央区東町122番地2(港都ビル2階)	(078)334-3581
四国営業所	〒761-8075	高松市多肥下町1516番地1	(087)868-6811
北九州営業所	〒803-0836	北九州市小倉北区中井2丁目2番4号	(093)583-3344
長崎営業所	〒852-8114	長崎市橋口町12番12号(プロミネンス安武1階)	(095)845-0135
大分営業所	〒870-0822	大分市大道町1丁目6番5号	(097)543-2778
熊本営業所	〒862-0910	熊本市東区健軍本町4-10	(096)360-1051
宮崎営業所	〒880-0841	宮崎市吉村町北原甲1439番6	(0985)28-8792
鹿児島営業所	〒890-0046	鹿児島市西田2丁目7番6号(スカイビル)	(099)253-8196
沖縄営業所	〒900-0003	那覇市安謝1丁目23番8号(株オカノ内)	(098)862-4297

